

一緒に働く仲間を待っています！！

本音で語りました…『やすらぎの里 座談会』

社会福祉法人 妙光福祉会

※ソーシャルディスタンスに配慮して撮影しました。



今日は皆さんから色々お話をお聞きしたいと思います。まずは、皆さんが福祉の仕事について『きっかけ』を教えてください。



私の『きっかけ』は、同居の祖父母が徐々に老いていく姿を見て、家族や身近な人を助ける仕事に就きたいと思うようになったことです。



皆さんは、福祉の仕事つく『きっかけ』があったのですね。実は、私は福祉にまったく興味がなく、知人から勧められてこの仕事に就くことになったので、介護の世界に無資格で飛び込みました。だからよく思うのですが、福祉の勉強や興味がなくても、私のように介護に『ハマる』ということもあると思います。



私は、父が県職員として長い間福祉関係に携わっていたので、父の姿をみて私も「福祉」の世界を見てみたいと思いました。小学生の頃から児童福祉施設や障害者施設などに連れて行ってもらっていたので、もっと深く関わりたいと思ったことが『きっかけ』ですね。



私は、幼いころ可愛がってくれた祖母が亡くなった時に、何もしてあげられなかったという後悔の気持ちが強く、その気持ちが『きっかけ』ですね。自分の祖母にできなかった分、福祉の仕事に携わることで祖母への恩返しになるのではないかと思います。



そうですね。だから、興味がない方や、介護の世界を全く知らない方にこそ、施設見学にきてほしい。介護の現場を見て、一緒に話をしてみたい。そうすれば、私が介護に『ハマった』理由、わかってもらえると思います。



皆さん、魅力ある私たちの職場を多くの人に見に来てほしいのですね。では、皆さんがその職場でのコミュニケーションで大切にしていることは何ですか？



わたしも、「思いやりの心」ですね。そのために、利用者の皆様や職員への気配りが大切だと思っています。仕事をする上で何か悩みがないか気を配るとともに、何でも気軽に相談することができる存在になりたいと考えています。



資格がなくても、福祉の勉強をしていなくても、利用者に親身になって介護してくれる職員は、たくさんいますものね。福祉の業界は「3K」と言われるようになってしまい、辛い印象が強くなったことが悲しい。学生の時、「福祉」という言葉は「幸せ」・「豊かさ」を意味するのだと教わったので……。



多くの人に、福祉施設の魅力を見に来てほしいですね。熱意があれば働きながらでも勉強し、資格を取得することは可能ですから。



私自身が、相手を尊重し思いやりの心と誠実さを大切にしたいとおもっているので、自分から積極的に“声をかける”ことですね。どんなに忙しくても、朝の「おはよう」から始まり、「お疲れ様」の声かけで一日を終わりたい、いつもそう思っています。



相手を思いやることは、やはり大切ですね。あとは、“元気”と“勇氣”かな。だから、後輩や部下の目線に合わせて、その声を全身で聴いてあげたい。言葉の影響力や大切さには、いつも心を傾けています。



そうですね、視線や言葉話す声のトーンも大事ですよ。



本当に、そう思います。それから、後輩や部下が、自分の個性に自信をもって仕事をできるように、長所を伸ばしてあげたいって、いつも思っています。仕事をするならやりがいをもって楽しんでほしい。そのために職員を守り、寄り添ってあげたい、「やすらぎの母」のような存在として。皆さんは部下や後輩のどんなところを伸ばしてあげたいですか？



部下や後輩のチャレンジする気持ちを伸ばしてあげたいと思っています。新しい発想はできるだけ実現させてあげたいですね。



私も、『その人らしさ』ですね。そこを大切に、部下や後輩がステップアップするための手助けをしたい。そのためにも、普段から信頼関係を築いて、部下や後輩が相談しやすい環境をつくるよう心がけています。信頼される上司でありたいですね。



「直観力」、「インプットとアウトプット」、そして仕事を「自分ごと化」出来る力、この3点を伸ばしてあげたいですね。自分の力で介護の業界を盛り上げる、その喜びを味わってほしいので…。そのために必要な力を伸ばしてあげたい。



本当ですね。
色々話をきけて、参考になります。



今日は、貴重なお話し、
どうもありがとうございました。
これからも、利用者や家族の皆様
に信頼される施設を目指して、
後輩や部下たちを見守っていきま
しょう。



ありがとうございました。



わかります。
私自身も「福祉」という業界に
いることに誇りを感じているので、
部下にもそういう思いで働いてもら
えると嬉しい。
皆さん、色々な視点で部下や後輩
の育成に励んでいらっしゃるのだ
ですね。



ありがとうございました。



ありがとうございました。